

「二極化進むDXの進展状況 遅れる不動産、建設、運輸企業」

産業界のみならず政府の主要課題ともなっているデジタル・トランスフォーメーション（DX）に対する取り組みは進展しているのか。三菱総合研究所は5日、国内民間企業を対象とした「DX推進状況調査」結果を公表した。1年前の調査結果に比べ、ビジネス変革というDXの狙いに向けた作業で進展をみせる企業が増えている一方、4分の1の企業が依然として情報のデジタル化という初期段階に留まるといふ二極化を示している。同研究所はビジネス改革を可能にする課題とともに、DXを推進する責任者や部署の明確化など具体的な方策を提言した。

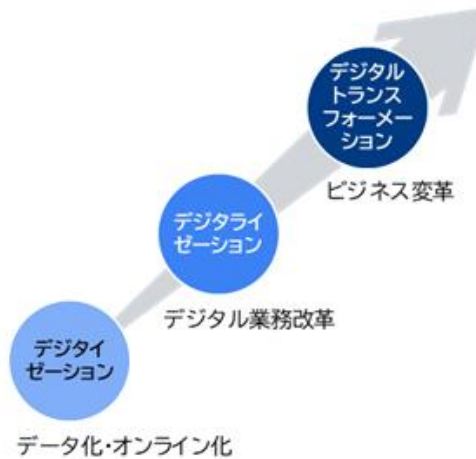


「DX推進状況調査」結果について説明する平島海 三菱総合研究所研究員

ビジネス変革実現企業 33%に

デジタル化については、DX（ビジネス変革）と、DXの前段階に相当するデジタルイゼーション（デジタル業務改革＝組織のビジネスモデル全体を一新し、クライアントやパートナーに対するより良いサービス提供法の構築）、さらに初期段階のデジタルイゼーション（データ化・オンライン化＝既存の紙のプロセスを自動化するなど、物質的な情報のデジタル形式変換）の3段階に分類される。

図表) デジタル化の3段階



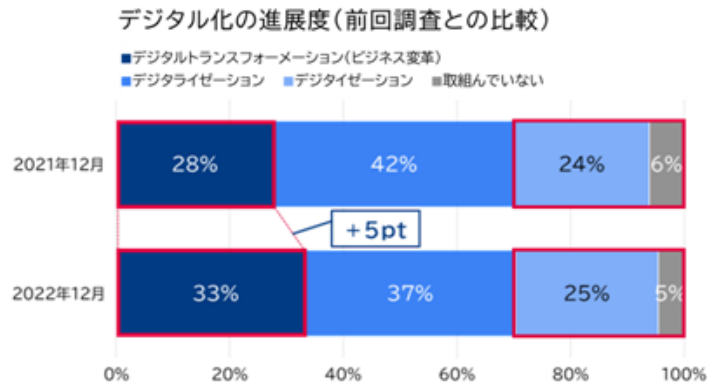
(三菱総合研究所提供)

三菱総合研究所の調査は、売上高 100 億円以上の企業に勤務し、社内のデジタル化・DX の取り組みに何らかの形で関与している 1000 人を対象に昨年 12 月中旬に実施した。役員クラスから一般社員まで回答者の役職は幅広い。1 年前に同じ条件で行った調査結果と比べ、明らかな変化は、デジタル化が DX の目的であるビジネス変革にまで進展したとする回答者が、前年の 28% から 33% に増えたことだった。

4 分の 1 は依然初期階に

前年調査結果に比べもう一つ明らかになったのは、初期段階であるデジタイゼーションに留まったとする回答が 25% と前年の 24% とほとんど変わらなかった実態。一方、中間段階のゼジタライゼーションの状況にあるとする回答は前年の 42% から 37% に減少している。つまり前年にゼジタライゼーション段階(デジタル業務改革)にあった企業のうち 5 ポイント相当分が、DX (ビジネス変革) 段階に進展したとみなされる結果といえる。こうした結果から「二極化が明らかになった」と、三菱総合研究所は見ている。

図表) デジタル化進展度



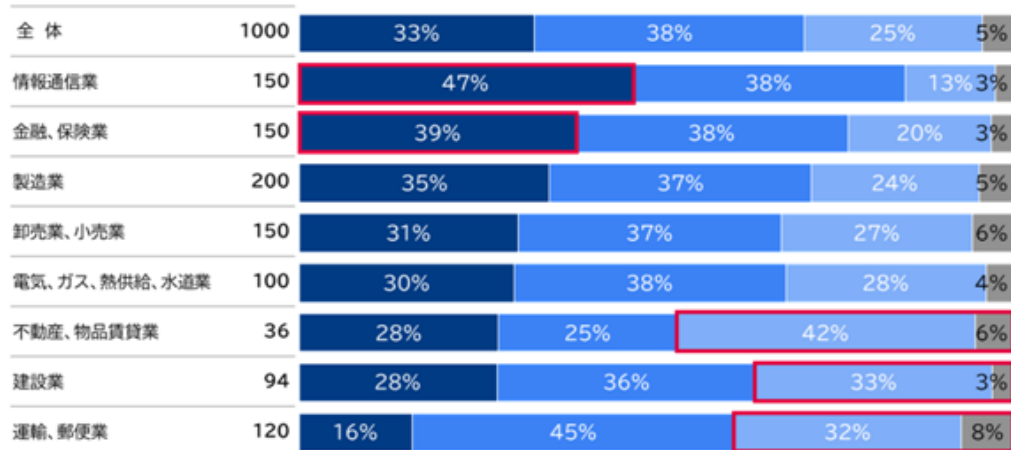
(三菱総合研究所提供)

さらに今回の調査結果で浮き彫りになったのが、業界間の顕著な差。ビジネス変革段階まで進展したとする回答が多かったのは情報通信業(47%)、金融、保険業(39%)で、逆に初期段階のデジタイゼーション(データ化・オンライン化)以下に留まっているという回答が多かったのは、不動産、物質賃貸業(「分からない」6%を含め48%)、建設業(「分からない」3%を含め36%)、運輸、郵便業(「分からない」8%を含め40%)となっている。

4. 業界別のデジタル化進展度

図表) 業界別のデジタル化の進展度

業界別のデジタル化進展度



出所：三菱総合研究所
Copyright © Mitsubishi Research Institute

4

(三菱総合研究所提供)

ビジョンと経営層の意識重要

DX の進展度の違いをもたらした理由は何か。三菱総合研究所は経営者の危機意識」を最大の成功要因に挙げている。「DX に関する成功要因は何か」という問いに対する回答のうちで、最も多かったからだ。経営者の危機意識を挙げた回答者は前年の 52% から 57% に増えた。

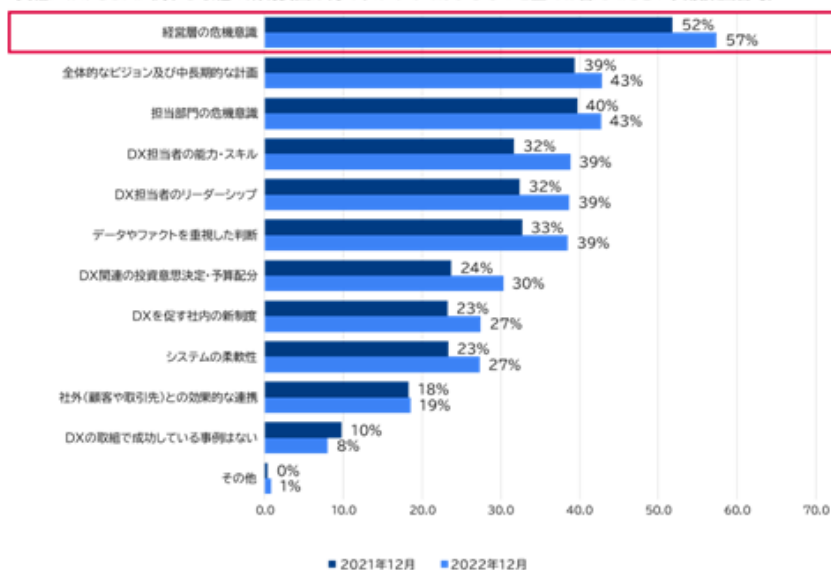
ビジネス変革まで進展した企業と業務改善段階までで留まっている企業の違いは何か。成功要因として「経営者の危機意識」に次いで多かったのは「全体的なビジョンおよび中長期的な計画」で前年の 39% から 43% に増えている。三菱総合研究所が注視するのは、この要因を挙げた回答者が、ビジネス変革企業と業務改善企業で大きな差がみられたこと。ビジネス変革を成し遂げた企業は業務改善段階の企業より回答割合が 16 ポイントも高かった。

また「ビジネス改革を実現した際に課題となったことを教えてほしい」との問いに対して最も多かった回答は「ビジョン・ロードマップの精度不足」だった。

3. 日本企業のデジタル化進展度(経年比較)

図表)DX成功要因

貴社におけるDXに関する取組の成功要因は何ですか？あてはまるものを全てお答えください。(複数回答可)



出典：三菱総合研究所

Copyright © Mitsubishi Research Institute

3

(三菱総合研究所提供)

これらの調査結果を基に同研究所は、「DXの突破口」として「ビジョン・KPI（重要業績評価指標）の策定とアップデート」、「データやファクトを重視した判断」、「DX投資を実現する階層間の連携」が重要なポイントになると指摘している。そのうえで経営者の責任やビジョンを重要視する次のような方策を「処方箋」として提言した。

「CDO（最高デジタル責任者）やDX推進部署など推進責任の明確化」。「データ起点ではなく、ビジネス課題（解きたい課題）を起点に必要なデータを最小限に収集し、活用する」。「経営層はDXの先に飛躍的な事業成長があることを強く意識し、そこに至るステップには大規模な投資が必要であることを認識する」

DXの推進は日本政府の重要な課題でもある。昨年10月には医療サービスの効率化・質の向上を目指す医療DX推進本部(本部長・岸田首相)の設置が閣議決定され、岸田首相は最初の本部会議で「全国医療情報プラットフォームの創設や電子カルテの標準化などにスピード感をもって取り組む」と強い意欲を示した。



医療 DX 推進本部会議であいさつする岸田首相 (2022 年 10 月 12 日、首相官邸) = 首相官邸ホームページから

日文 小岩井忠道 (科学記者)

関連サイト

三菱総合研究所プレスリリース「[日本企業の DX 推進状況調査結果【2023 年度版】を公表 DX の突破口 3 つの課題と処方箋を提言](#)」

関連記事

2021 年 08 月 19 日 [日本国内 CEO 年齢越大業績悪化越明显, 因缺少长期愿景 - 客观日本 \(keguan.jp.com\)](#)

2020 年 11 月 11 日 [“数字化落后国家日本”的真相 - 客观日本 \(keguan.jp.com\)](#)

2020 年 10 月 14 日 [【新型肺炎】“暴露了日本的弱点”, 日本民间组织核查政府的应对措施 - 客观日本 \(keguan.jp.com\)](#)

2020 年 09 月 29 日 [日本学术会议: 紧急推进医疗和社会的数字化转型, 同时保护个人隐私 - 客观日本 \(keguan.jp.com\)](#)

2019 年 09 月 05 日 [中美 Gafa 和 BATH 企业特点: 以满足客户欲望和解决压力为最优先事项 - 客观日本 \(keguan.jp.com\)](#)